

図書館コンシェルジュ

2020（令和2）年度
活動報告書

2021 年 3 月

島根大学附属図書館

令和 2(2020)年度 図書館コンシェルジュ活動報告

1. 図書館コンシェルジュの概要

図書館コンシェルジュは、来館者の利用サポートや、図書館において各種企画を実施している学生団体で、平成 22 (2010) 年度から活動を行っている。正課 PSP による予算支援を受けている正課外での図書館利用サポートは、学生の図書館利用を学生自身が支援すること（ピアサポート）を通じて、学習の場としての図書館の機能を活性化させるとともに、図書館コンシェルジュである学生自身の学びと成長（キャリア形成）を支援することを目的としている。

また、図書館の活性化やサービス改善を目的とした各種企画（自主企画活動）も積極的に行っている。

2. 活動内容

(1) 正課外での図書館利用サポート

- ・サービスカウンター（1 日最大 3 コマ、各 1 名対応）
- ・図書館ツアー（外部からの図書館見学时など）※今年度未実施

⇐ 正課 PSP による予算支援

(2) 自主企画活動

展示・グッズチーム： 図書展示（ブック★コンパス）、館内装飾、ブックカバー制作 他
イベントチーム： ABD（対話型読書会/オンライン）、松江市立図書館団体貸出、
ただ日本語で話すだけ（ただ日／留学生との交流企画） 他
チーム横断企画： オープンキャンパス企画（館内ツアー動画作成等）、Twitter 他

(3) イベント運営／外部イベント参加／他団体との交流

- ・学生協働交流シンポジウム（オンライン開催）への参加
- ・他大学の学生団体とのオンライン交流会（梅光学院大学、広島大学）の実施

3. 学年・所属

学年別内訳

学年	人数
1 年生	4
2 年生	6
3 年生	5
4 年生	10
修士 1 年生	1
合計	26

所属別内訳

所属	人数
法文学部	12
総合理工学部	3
教育学部	1
生物資源科学部	7
人間科学部	3
合計	26

4. 図書館利用サポートの実施状況

(1) 活動時間帯

活動時間帯	月	火	水	木	金
9:00-10:00	-	-	-	-	-
10:00-12:00	○	○	○	○	○
12:00-14:30	○	○	-	○	○
14:30-17:00	○	○	-	○	○

※○の時間帯に各1名配置。令和2(2020)年度は後期のみ実施した。

(2) 利用統計

(資料1) 令和2(2020)年度 利用サポート統計

5. 予算執行状況

(資料2) 令和2(2020)年度 予算執行状況

6. 活動に参加した学生の評価・感想等(アンケート)

(資料3) 令和2(2020)年度 活動状況に関するアンケート調査

7. 今年度の活動における特記事項

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、活動実施にあたり様々な制約が生じた。特に前期は、サービスカウンターでの利用サポートは全て中止し、当初計画していた自主企画活動のほとんども中止、延期又は実施方法を大幅に変更する必要があったが、オンラインでも実施可能な活動を積極的に行った。

また、「島根大学公認学生団体(松江キャンパス)の課外活動再開に関するガイドライン」の公開に合わせ、図書館コンシェルジュ向けにも、対面活動を行うための条件等を明記した留意事項を作成し、感染症対策を徹底した。

8. 来年度の正課 PSP 実施計画及び必要経費

(資料4) 令和3(2021)年度 図書館コンシェルジュ必要経費(案)

9. 今年度の活動記録（詳細）

月	日	事項
4	上旬	授業開始日延期、学生の課外活動制限、オンライン授業実施決定
	上旬	オンライン活動開始のための準備開始（～5月上旬）
	10	*新入生向けに Twitter で質問受付開始（Peing のサービス使用）
5	上旬	新規メンバー募集開始（*Web 申込みフォームを設置）
	13	*オンラインミーティング開始（Microsoft Teams を使用）、館内図書展示（テーマ：春と木）を実施
	20	オンラインミーティング
	27	オンラインミーティング
6	3	オリエンテーション
	10	オンラインミーティング
	17	オンラインミーティング、館内図書展示（テーマ：夏）を実施
6	24	オンラインミーティング
	－	オープンキャンパス企画の動画作成開始（～7月）
7	1	オンラインミーティング
	8	オンラインミーティング
	15	定例ミーティング、「図書館コンシェルジュの活動再開にあたっての留意事項」を学生に配布
	22	オンラインミーティング
	29	オンラインミーティング
8	5	オンラインミーティング、*オープンキャンパス用動画を YouTube で公開（館内ツアー、コンシェルジュの活動紹介）
	28	コンシェルジュ後期活動に向けての座談会開催
9	11	第 10 回学生協働交流オンラインシンポジウムへ参加（主管：梅光学院大学図書館）*オンラインは初
10	1	対面授業再開、後期利用サポート開始
	5	ブックカバー（秋 ver.）設置
	7	オンラインミーティング
	14	オンラインミーティング
	16～22	学生による利用サポート研修
	21	定例ミーティング
	28	オンラインミーティング
	30	レファレンス研修（レベル I）実施（～11/9）

月	日	事項
11	4	オンラインミーティング
	7	館内装飾（冬 ver.）を実施
	11	オンラインミーティング、レファレンス研修（レベルⅡ）実施、館内図書展示（テーマ：健康と勉強）を実施
	14	* 第一回広島大学学生団体とのオンライン交流会（Zoom）
	16	松江市立図書館団体貸出「テーマ：冬と旅」展示開始
	18	オンラインミーティング
	24	読書の木（来館者参加型のおススメ図書紹介）開始
12	2	オンラインミーティング
	7	ただ日本語で話すだけ（@Zoom）開催
	9	オンラインミーティング、自主企画活動の棚卸を実施（～12/23）
	11	今年度新入生との交流レクリエーション会
12	12	* オンライン ABD を開催（梅光学院大学学生団体との交流企画）
	13	第二回広島大学学生団体とのオンライン交流会（Zoom）
	16	オンラインミーティング
	18	ブックカバー（冬 ver.）設置
	23	オンラインミーティング
1	4-17	利用サポート及び来館を伴う活動を休止（オンライン授業期間）
	6	オンラインミーティング
	13	オンラインミーティング
	18	* Twitter 企画「#140 字で小説を作れ」実施
	20	オンラインミーティング
	23	第三回広島大学学生団体とのオンライン交流会（Zoom）
2	2	最終活動報告会
	24	* 春のコンシェルジュ意見交換会（学生、職員）
	25	第四回広島大学学生団体とのオンライン交流会（Zoom）

*・・・今年度初めて行った取り組み

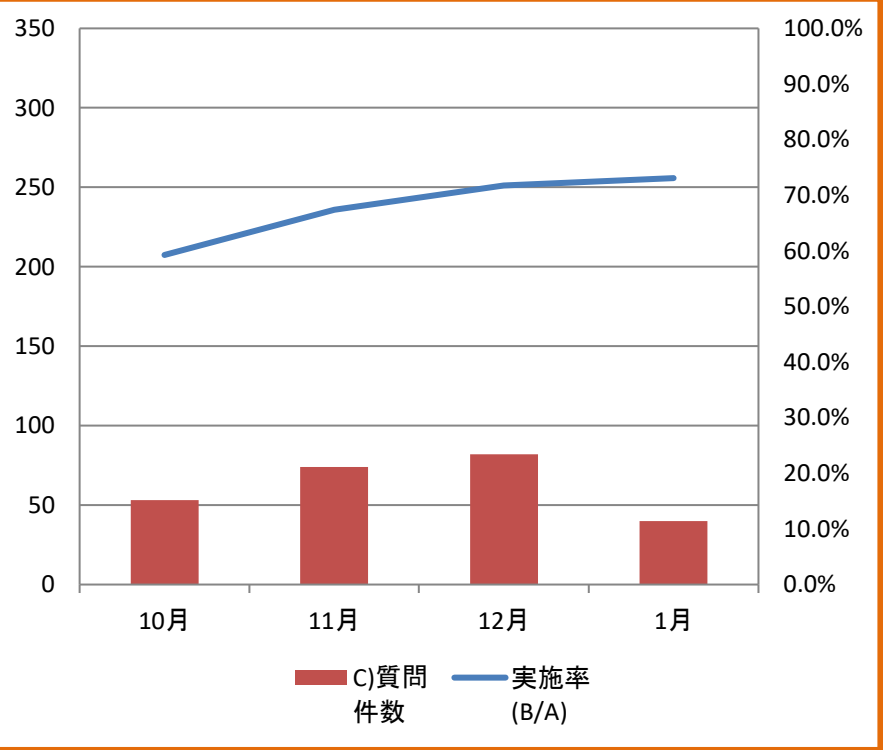
令和2(2020)年度 図書館コンシェルジュ 利用サポート統計

年間集計

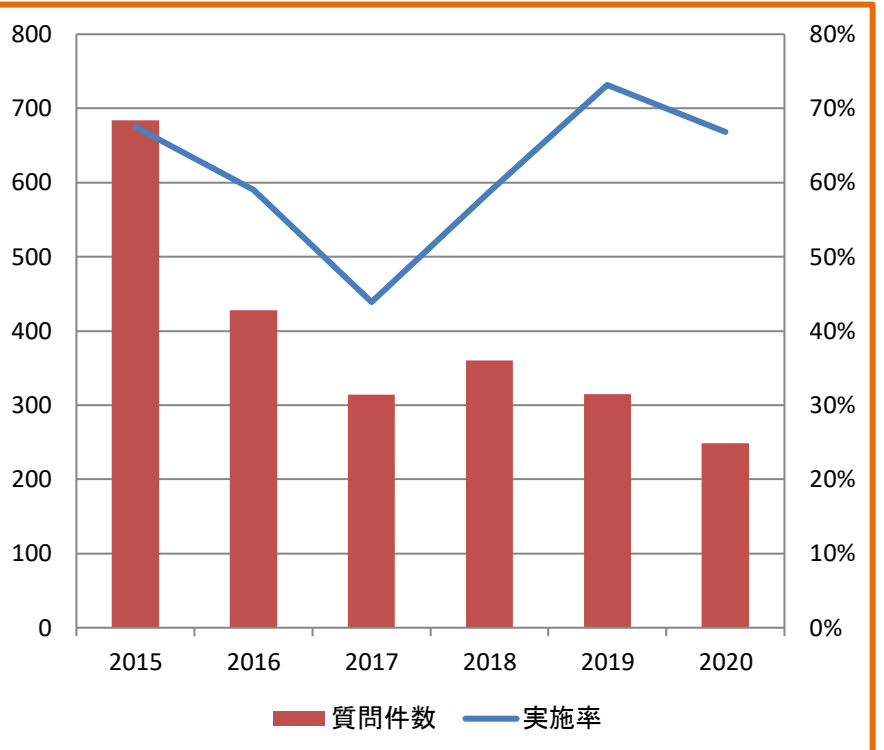
月	活動可能 日数	A)活動 可能 コマ数	B)活動した コマ数	実施率 (B/A)	C)質問 件数	コマ当たり 質問件数 (C/B)
4月	0	0	0	0.0%	0	0.0
5月	0	0	0	0.0%	0	0.0
6月	0	0	0	0.0%	0	0.0
7月	0	0	0	0.0%	0	0.0
8月	0	0	0	0.0%	0	0.0
10月	22	54	32	59.3%	53	1.7
11月	19	49	33	67.3%	74	2.2
12月	14	46	33	71.7%	82	2.5
1月	10	26	19	73.1%	40	2.1
2月	0	0	0	0.0%	0	0.0
合計	65	175	117	66.9%	249	2.1

質問件数／実施率

(1)令和2(2020)年度



(2)過去6年間の推移

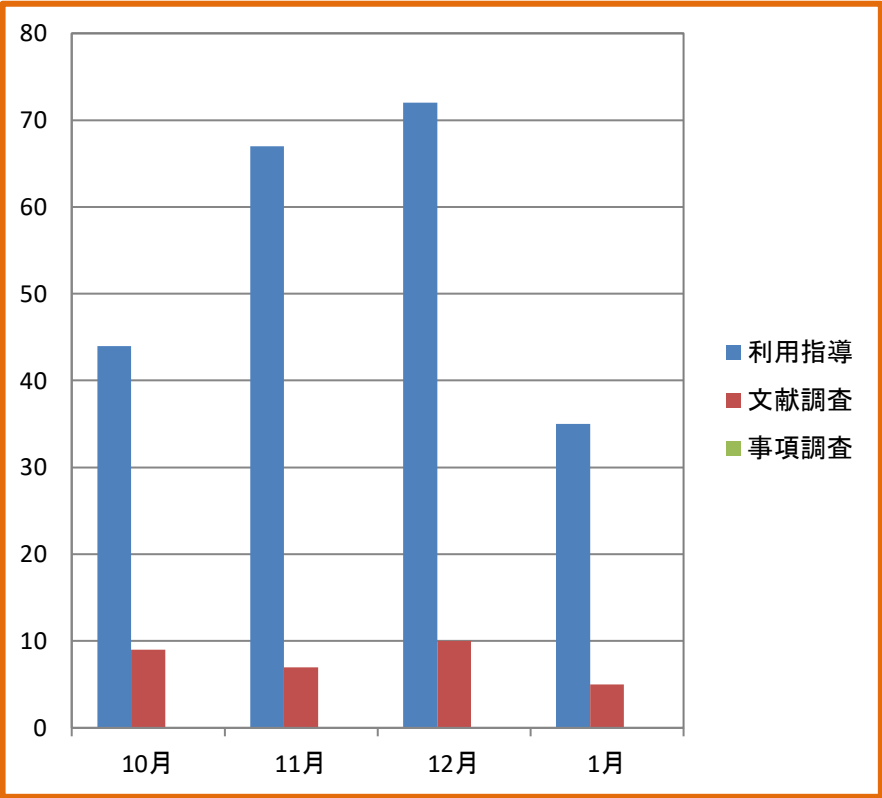


A)活動可能コマ数は、シフトの登録があるか否かに関わらず、希望すれば利用サポートに従事することができたコマ。

※1. 前期の利用サポートは休止。後期の利用サポート開始日は10月1日、終了日は1月29日。

※2. 今年度は対面授業の再開と同時に後期から利用サポートを開始したため、例年よりも実施期間が短い。

質問種別件数

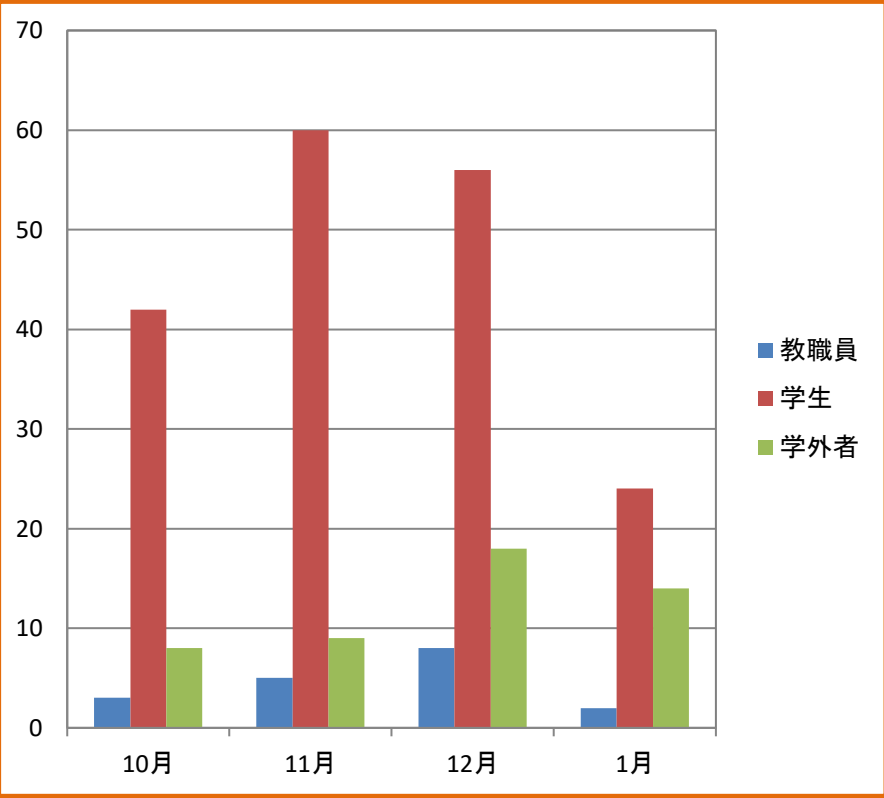


* 利用指導 図書館の各種利用方法等の指導
(例) ・書庫の利用の仕方は？
・自動貸出装置の使い方が分からない
・工学分野の図書はどこにあるか？
・OPAC、データベースの検索の仕方が分からない

* 文献調査 文献の所蔵・所在等についての調査
(例) ・この図書は図書館にありますか
・〇〇についての文献(図書・論文)を探している
・〇〇という論文を探している

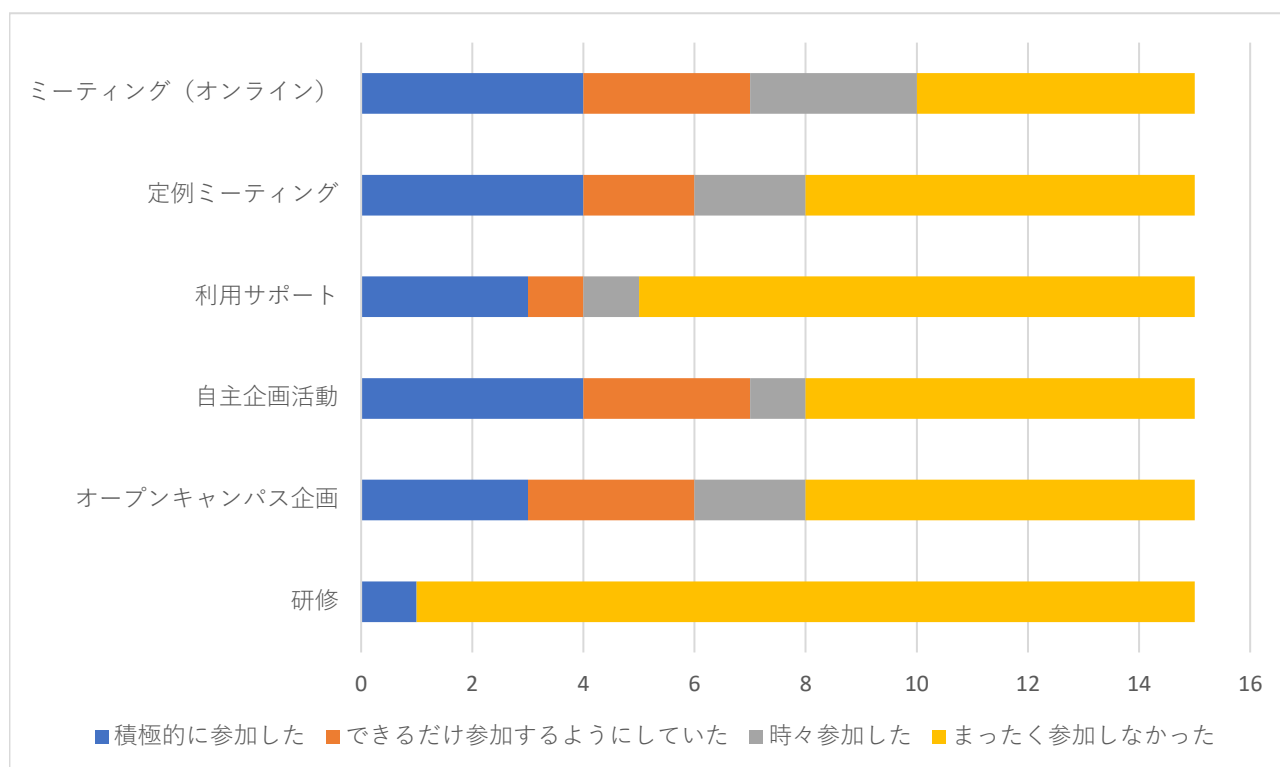
* 事項調査 事実や事柄についての調査
(例) ・〇〇について知りたい

利用者種別件数

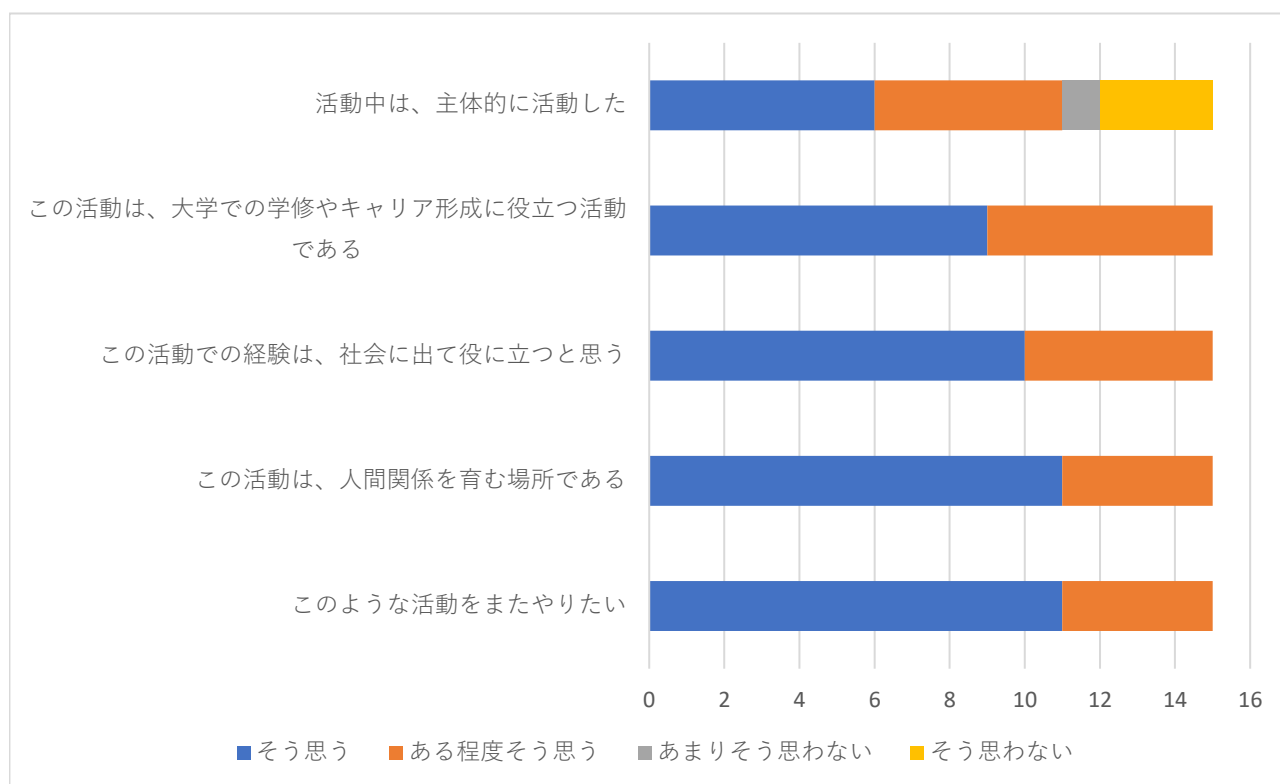


令和2（2020）年度 図書館コンシェルジュ 活動状況に関するアンケート調査

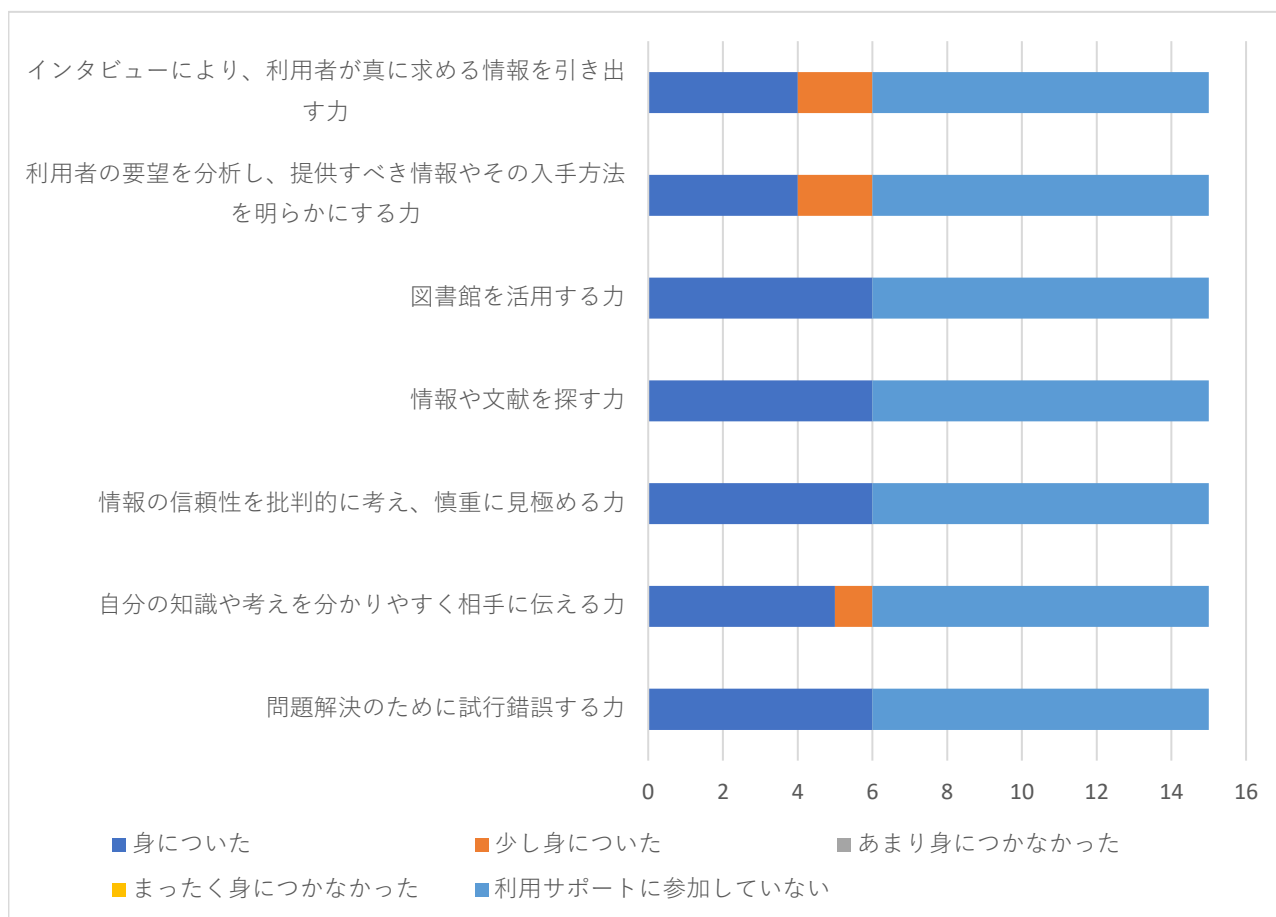
1 あなたは、以下のコンシェルジュ活動について、どの程度関わりましたか。



2 あなたは、この1年間にコンシェルジュの活動を行った経験の中で、以下の項目についてどの程度あてはまると思いますか。



3 利用サポート活動を通して、どのような力が身についたと思いますか。



4 利用サポート活動全般についての課題・問題点をお書きください。

カウンターの保護フィルムが厚く、カウンターの向こうが見えづらいと感じました。

○日本語が全く話せない+わからない留学生の方への対応。

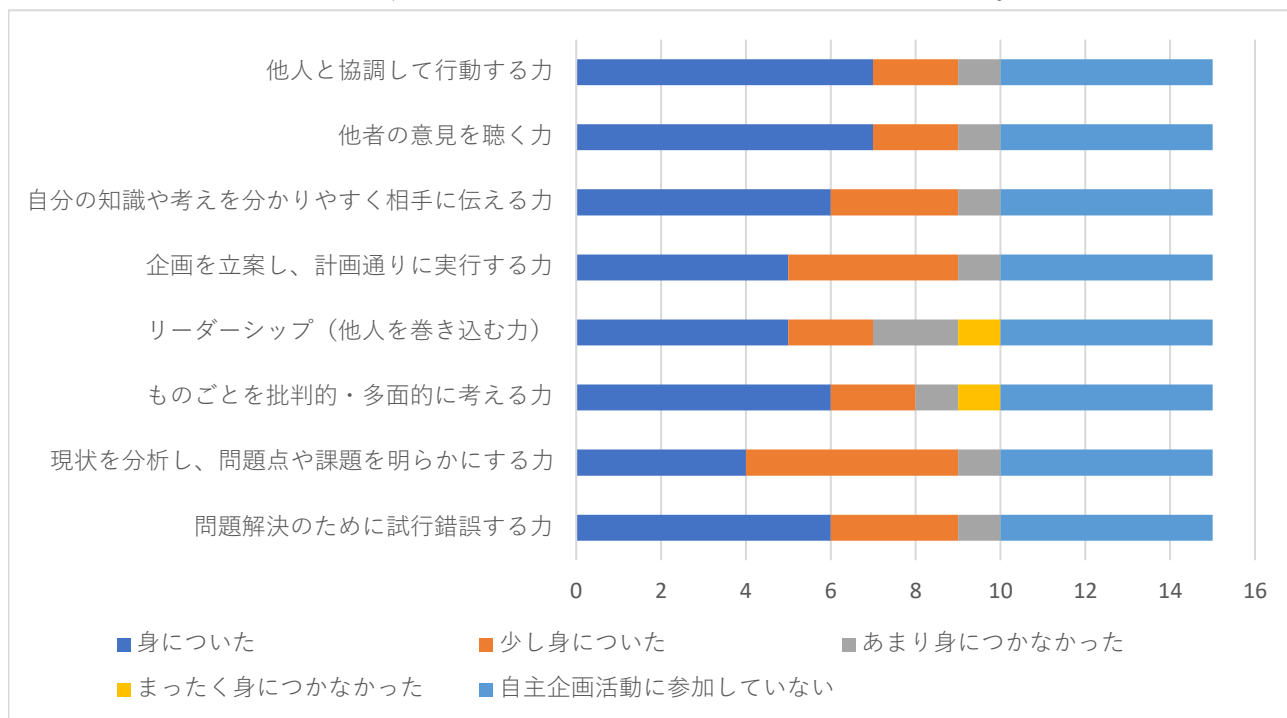
特に英語も微妙な方で母国語(多分中国語か韓国語)で話をされた時には全く通じない事もあるので、利用サポートのパソコンにある「英語マニュアル」の、ある程度留学生の方が多く国の母国語版も作成した方が良いと思いました。

○コロナ対策。

本の返却作業を素手で行っており、アルコール消毒をしているとは言えど、素手で本を扱っている事に不安を感じていらっしゃる利用者さんもあると思うので、利用サポートに入っているコンシェルジュは、スーパーなどの店員さんのように手袋を着用するなどした方が良いのかと思いました。

利用サポートの際、カウンターに置いてある連絡用のバインダーを確認している人もいれば、していない人もいます。利用サポート研修の際に伝えているはずだが思った以上に浸透していないと感じる。きちんと最新の情報に目を通しておくこと、見た後はチェックマークと名前を書くこと、この点については職員の方からも改めて伝えていただければと思う。

5 自主企画活動を通して、どのような力が身についたと思いますか。



6 あなたが中心となって企画した自主企画活動についてお尋ねします。

企画名	その企画を行ったことで、図書館の利用者やコンシェルジュの活動に対してどのような効果があったと考えられますか。	企画を通して学んだ点・成長したと思う点をお書きください。
ブックカバー	読んでいる本のプライバシー保護の効果があると思います。また、新型コロナウイルスの影響があり、一部の時期しか活動出来なかった上に、図書館利用を自粛する方もいたと思うので図書館の利用促進に関われたのかは今年度については分かりません。	
ブック★コンパス(館内での図書展示)	専門外の図書など、普段借りないような本の貸し出しの促進ができたと思います。	計画を立て、実行する力
読書の木（来館者参加型のおススメ図書紹介）	図書館利用者が気軽に本を紹介したり、他者のすすめる本を知ることによって間接的ではあるが交流する機会を提供できたと思う。	2018年度、2019年度、2020年度すべて形を少しずつ変えながら企画を行なったが、それぞれの年度にあった形を探ったり、利用者の要望に応えつつ臨機応変に企画を実行できたことで自分の成長を感じた。

オンラインABD（対話型読書会）	ABD本来の楽しさを完全再現することは出来ないが、オンラインでもイベントが出来ることの証明になったと思う	計画から実行までの過程をしっかり考えることで、イベントを自分自身で運営する力がついた。また、梅光学院大学さんという今まで交流のなかった方々と色々やり取りもさせていただいて、伝えやすくするにはどうしたらいいかということをお自分の中でよく考えるきっかけになった。
団体貸出（松江市立図書館）	大学図書館ではなかなか借りられないような本を借りてもらえるいい機会になったと思います。	どうすればより多くの人に借りてもらえるか考えながら活動することができました。また、popやポスターを作る機会はほとんどないので貴重な経験をさせていただきました。
ただ日（ただ日本語で話すだけ）@zoom	○留学生の日本語の練習場の提供 ○留学生と日本人の交流	○人集めが大変だということ。
新入生向け企画 Twitter質問箱「Peing」	○利用者(特に新入生)の方が抱えている、図書館に対する疑問を気軽に質問できる場を作れた事。	○新入生や利用者の方が感じている質問内容を知り、「こんな事が知りたかったのか」と、ニーズや要望などを知れた事。 ○図書館の事やコンシェルジュの事についてより知れた。
オープンキャンパス（動画作成）	島根大学の図書館の内部やコンシェルジュの活動について高校生の方々に伝えることが出来た。	自分がリーダーだったので、どうすれば他のメンバーに負担があまりかからずに動画作成ができるかを考えながら運営できた。諸々の決定はほとんど自分がしていたのでリーダーシップはかなり高まったと思う。

広島大学の学生団体（HULS）との交流会	外部の学生協働団体とコロナ禍での活動状況に関して共有できて、こういった活動が現在可能なのかを前向きに検討することが出来た。コロナで活動がままならない辛さを共有することができ、コロナがなかった時よりも親密な関係性を作り上げることができたと感じている。 交流会後にコンシェルジュメンバーへの報告をすることでこういった形であれば現状活動ができるのかの具体例を示すことが出来た。 コンシェルジュの最古参として豊富な活動経験を交えての発言ができたので、HULSさんが嬉しい情報を与えることができたのではないかと感じている。 宍道先生の『どんぐりと山猫裁判』を第3回の交流会では出来たので外部の方に企画を広めることができて嬉しかった。	外部の方と共同する際に必要となるスケジュールリングや連絡のやり取りを円滑に進めるために必要なコンタクトの早さに自信がついた。また、最低限守らねばならないルールの見極めを行って、お互いにとって楽しい活動にもなるように真面目さと緩さの両方を演出するようにした。
-----------------------------	---	---

7 自主企画活動全般についての課題・問題点、その他気づいた点や感想をお書きください。

私自身が学内でやりたいと思う企画がほぼ無くなってしまった。新規性のある企画を求めている、かつてない熱意を感じるような企画を求めている。その実現のために私にできることは何なのか。できない理由よりもこういった形だとコロナ禍でも実現できるのか考えたい。

○イベントなどに参加するコンシェルジュが少ない。

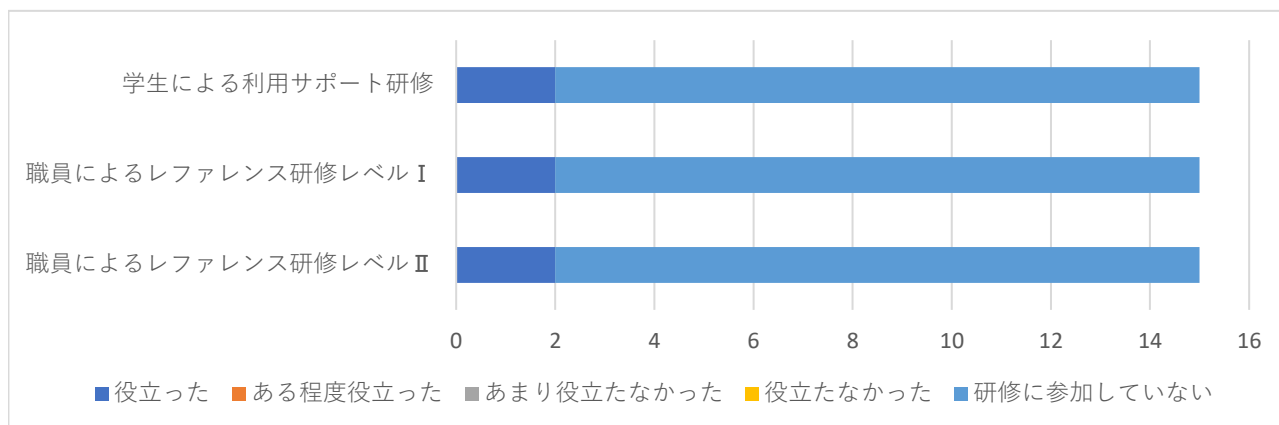
オンラインならではの企画や交流に挑戦できた1年だったと感じる。今まで通りの形で企画ができなくなったことは残念だが、コンシェルジュ1人ひとりが考え、行動して大きく成長したと思う。

連絡が遅くなってしまうことがあったので、もっと早く行えばよかったと思います。また、他のコンシェルジュの方に参加してもらうこともなかなかできなかったのも、いろいろな人を巻き込む力が必要だなと思いました。

オンラインABDをやってみてタイムキーパーから資料共有といった運営業務を1人でこなすのはかなり厳しいと思った。

また、オープンキャンパスについても動画の原稿を考える負担がミーティング参加者ばかりだったので、今後このような企画をするならばやり方を変えないといけないと感じた。

8 あなたが参加した研修について役立ったかどうか、4段階で評価してください。



9 あなたが受けた研修についてお尋ねします。

9-1.研修でどのようなことが身につきましたか。

論文の効率的な探し方

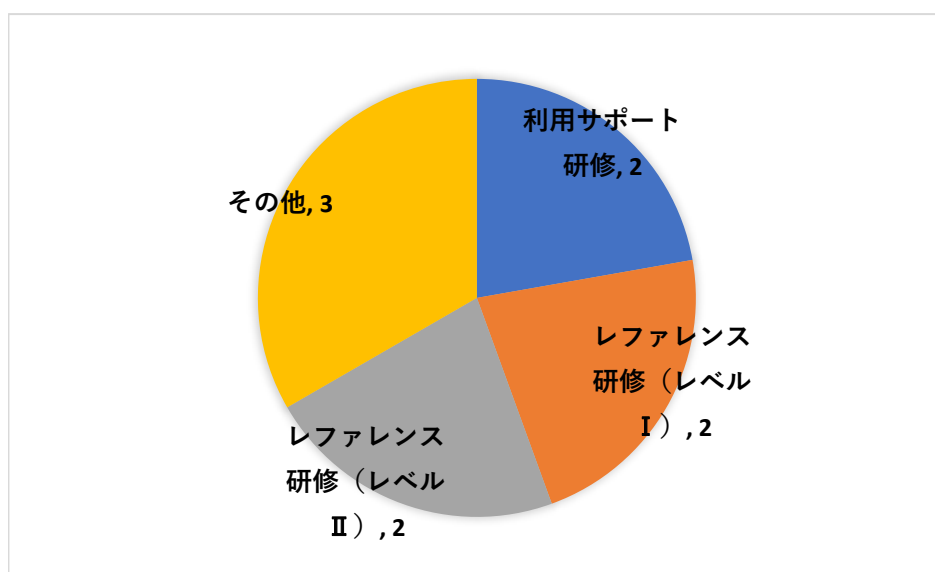
9-2.研修の成果をコンシェルジュの活動にどのように生かしていますか。

図書館利用法の再確認

9-3.研修の成果を大学の授業や正課外の活動にどのように生かしていますか。

すばやい論文検索

10 来年度も開催されるなら、参加したいと思う研修を選んでください。



（上の質問で「その他」を選んだ方）どんな研修を受けてみたいですか？

オンライン上での企画活動実施方法。SNS広報にも役立つ文章ライティングスキル講座。企画活動を行う上で知っている役立つマーケティングのような知識の研修。

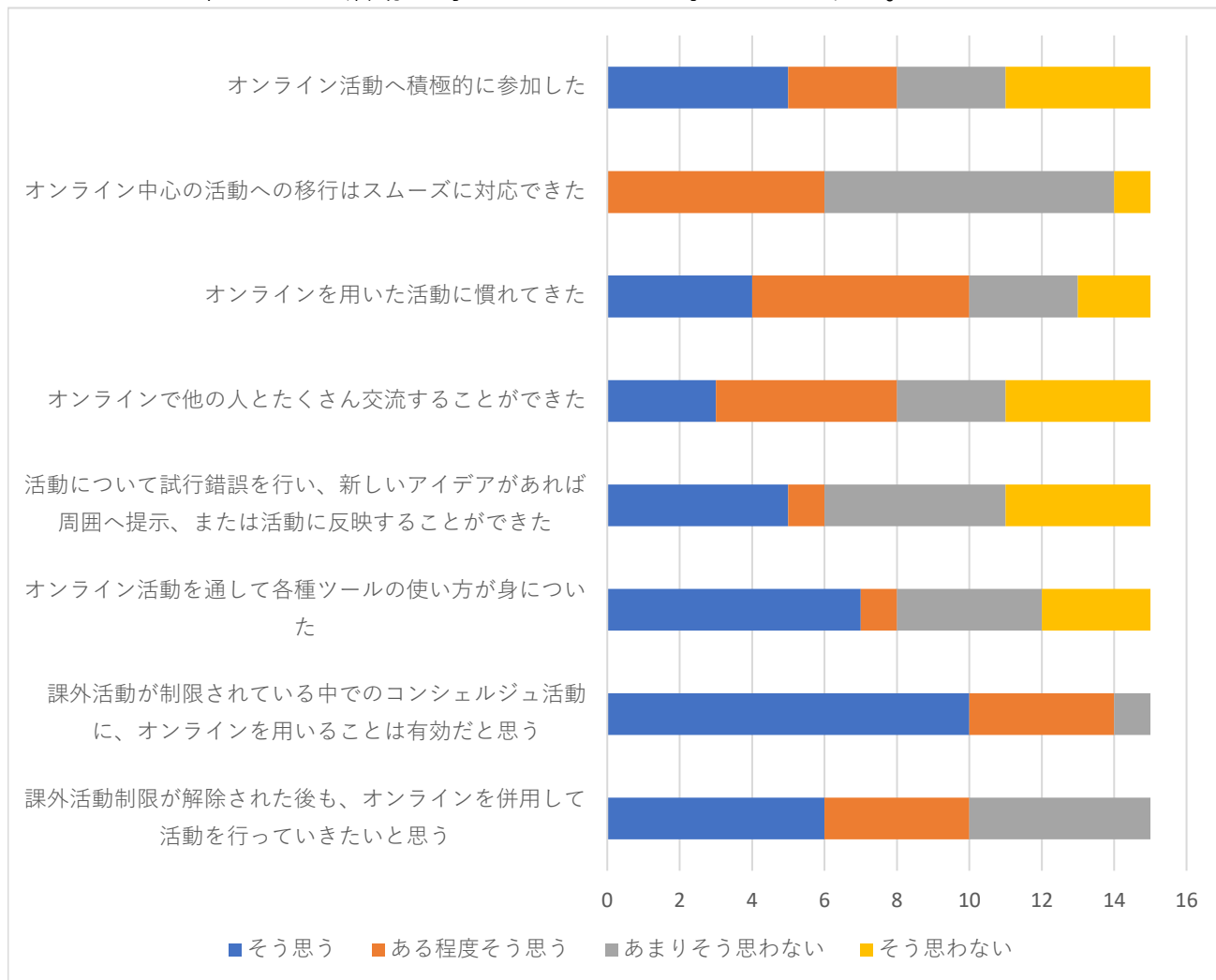
☐ ファシリテーション講座

☐ 「やさしい日本語」講座

☐ 特にありません。

★新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2020年度は活動の実施に制限がかかりました。それを踏まえて今年度行った、オンライン中心の活動についてお尋ねします。

11 あなたは、今年度行った新型コロナウイルス感染拡大防止を念頭に置いた活動、特にオンラインを中心にした活動に対してどのように考えていますか。



特に印象に残っているオンライン活動があれば、ご記入ください。

オープンキャンパスの動画作成
交流シンポジウム
梅光学院大学の方と行ったABD読書会。ABDをオンラインで実施し、「ケーキの切れない非行少年たち」について他の読者と議論することができたのは私にとって嬉しいことだった。
広島大学とのオンライン交流会
梅光学院大学さんに行ったABD
オンラインABD、広島大学とのオンライン交流会
いつもは対面で行われていた、ミーティングがオンラインになったことだと思います。
オンラインミーティング、コンシェルジュの時間、オンラインABD、オープンキャンパス

オンライン中心の活動を行う中で自分が特に試行錯誤したと思う事柄や、活動にあたって自分が思いついたアイデアがあれば、具体的にご記入ください。

前期はミーティングに参加できていなかったのだが、プライベートで阪大ビブリオバトルさんとオンラインで交流し、ビブリオバトルに参加させていただいた。コンシェルジュのメンバーにも広報を流したが、参加者は増えなかった。

後期になってから私はミーティングに参加し始めたのだが、司会者以外の多くがカメラ、音声をオフにして行っていて司会者が反応が見えずに戸惑っていると感じたのでそこを指摘して改善させた。ミーティングに参加していない学生がいる中で、もっとコンシェルジュのメンバーが交流できるようにTeamsの多目的室に投稿を増やした。しかし、反応は職員さんと学生1人だったのでもう少し内容を変えたり、更新頻度などを考えたりする必要があったのではないかと感じた。

Teamsの使い方

特にありません。

オンラインだと発言していいタイミングが分からないという声があったので、できるだけ指名をするようにしたり、自分がーをしていた時のミーティングの時間はシーンになってしまう時間が無いようなるべく口を動かして会話していることを忘れられないように心がけた。

オンライン活動を通して、特に理解度が深まったと感じられるツールがあれば、ご記入ください。

ホワイトボードは使ったことが無かったが、ミーティングで使ってみた経験を他の授業でも活かすことができた。

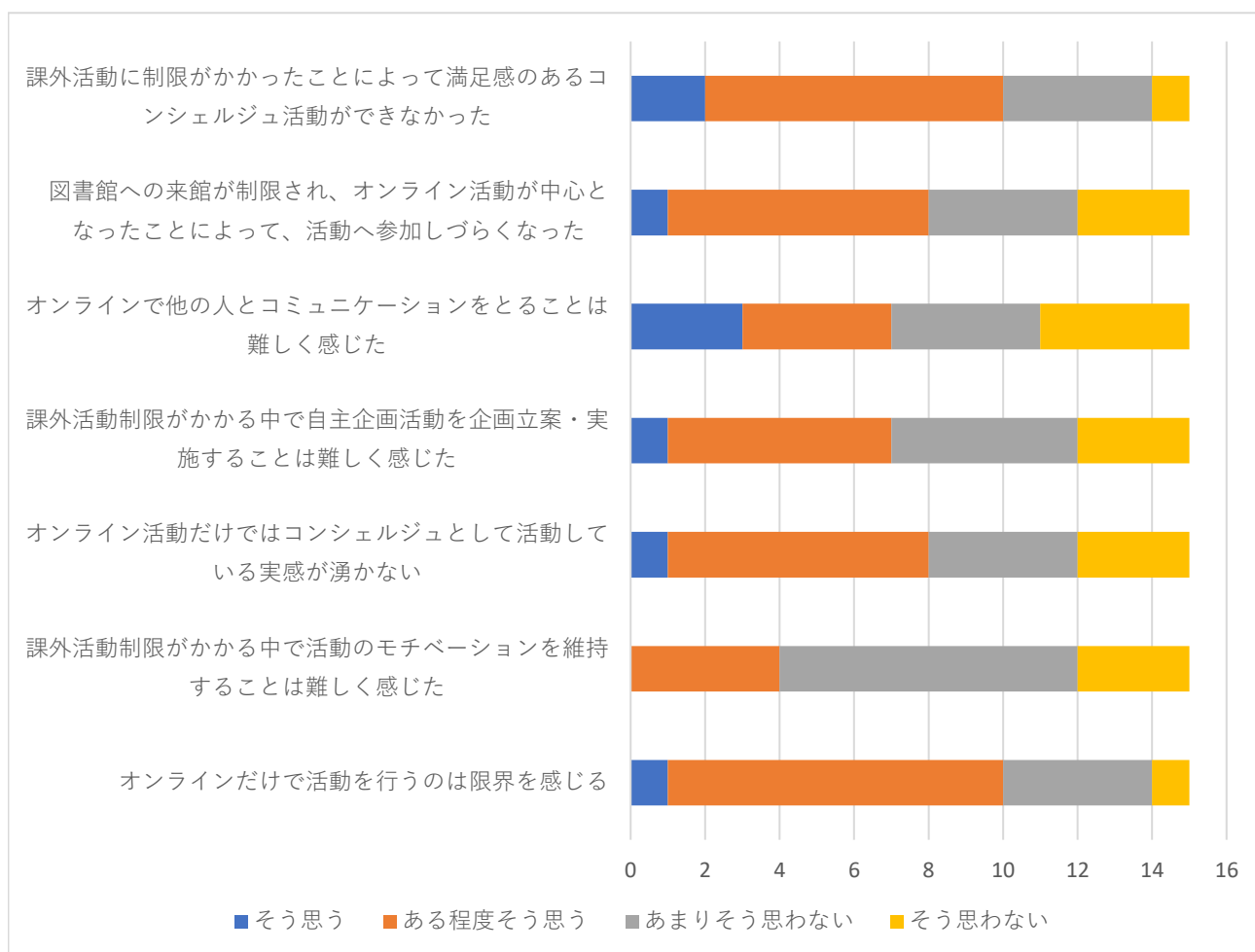
ZOOMを交流会で使ったりしていたので、就職活動でインターンに参加した時でも画面共有などがスムーズにできたり、ワークの議事録作成などを率先して引き受けることができとても助かった。

zoom

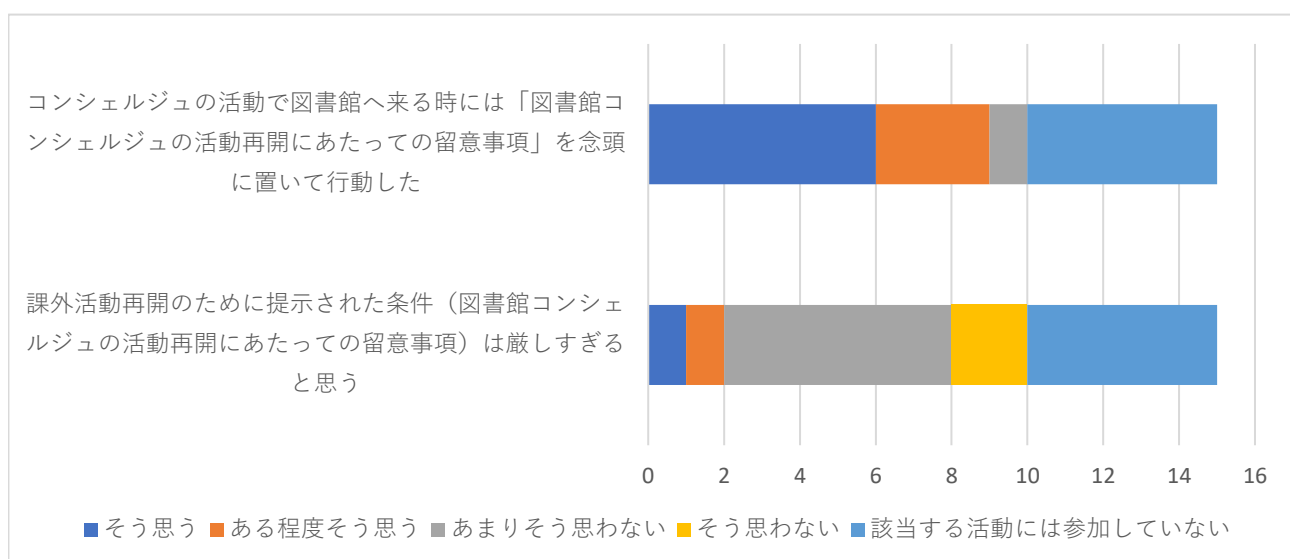
Teams

teams全般

12 あなたは、課外活動制限によるコンシェルジュ活動への影響について、どのように感じましたか。



13 課外活動を再開するにあたり、対面活動を行うための条件として「図書館コンシェルジュの活動再開にあたっての留意事項」が提示されました。これに関して、自分の考えや感じ方に最も近いものを選んでください。



14 図書館コンシェルジュの活動再開にあたっての留意事項の中で、緩和してほしいと思う箇所、または必要のない制限だと思う箇所などがあれば、ご意見をご記入ください。

私自身はもう少し厳しくしても良いかと思います。確かに、対面でない事でモチベーションの低下はありますが、全国的なコロナの感染状況や、変異種の市中感染、ワクチン等々を踏まえると、いくら島根ではそんなに感染が広がってないとは言え、これ以上留意事項を緩和するのはどうなのかな？と思いました。

もし、コンシェルジュの活動中にクラスターでも発生すれば、それこそ問題になると思いますし、コンシェルジュに対して世間の皆様から悪いイメージを持たれる恐れがあると思います。

なので、コロナのワクチンが広く国民に接種され、インフルエンザ程度のレベルにコロナがなるまでは、留意事項を緩める必要性はないと思います。

対面で行うことについて緩和されていけばいいなと思います。

15 オンラインを中心とした活動についての課題・問題点、その他気づいた点や感想などをお書きください。

オンライン上では一つの議題について話し合うことが多く、制作したり等何か活動をするというのが難しい面もあり、一年生にとっては参加しにくい環境だったのかなと思います。

オンラインでも対面と同様に企画を行うことができるものもあるが、オンラインでは行うことができない企画があることも事実。そういった企画の担当者のモチベーション管理に関しては、周囲のサポートが必要と感じた。また、一度コンシェルジュ活動から離れてしまうとオンラインミーティングには参加しにくいとの声が多かった。(対面だとまだ参加のハードルが低いとのこと。)

オンラインだと、話に入っていくのが大変だと思いました。

オンラインミーティングはできるだけ顔出しして欲しかったが、最後まで顔出ししない人がいたので如何かと思いました...

16 コンシェルジュの活動全体に対して、課題・問題点、その他気づいた点や感想などをお書きください。

コロナ禍の影響なのかは分からないがメンバーの熱意や、参加人数に限界を感じる。私にはこれ以上メンバーを鼓舞するのは難しい。

全体的にどの企画にも参加者が少ないのかなと思いました。

コンシェルジュのあり方が大きく変わった中で、それぞれにできること、やりたいことを見つけながら進み続けた1年だったと思う。今年度はコンシェルジュから「楽しい」という声あまり聞けなかったように思うので、来年度はもっと楽しく活動できていたらいいな。

どのように、活動するコンシェルジュを増やしていくかが問題だと思いました。

令和3（2021）年度 図書館コンシェルジュ必要経費（案）

次年度も引き続き、図書館コンシェルジュによる図書館利用サポート実施に必要な経費をお願いしたい。

（1）活動時間帯

活動時間帯		
10:00～12:00	120 分	授業期間中の平日 (月～金)
12:00～14:30	150 分	
14:30～17:00	150 分	

※上記時間帯に各1名配置する。水曜午後を除く

※1日あたり平均6時間（360分）

（2）必要経費
(要求内訳)

区 分	時間	単価	金額	備考
謝金	(h)	(円)	(円)	
6時間／日 × 5日／週 × 28週	840	900	756,000	
合 計			756,000	

自主企画活動報告

ブックカバー後期活動報告

担当：富永

1

活動趣旨

- ① 図書館の利用促進
- ② 図書、または利用者のプライバシーの保護

2

活動内容

- ・ブックカバーの作成・印刷
- ・設置・配布
(1階自動貸出し機の横)
- ・広報
Twitterを用いた配布開始のお知らせ
(図書館コンシェルジュアカウント)
- ・今期は2回(秋・冬)



3

秋ver.

配布時期：2020/10/05 ～ 2020/12/18

配布枚数：B5（文庫本用）31枚
A4（新書本用）36枚



4

冬ver.

配布時期：2020/12/18 ～

配布枚数：B5（文庫本用）2枚（2021/01/26 時点）
A4（新書本用）16枚（2021/01/26 時点）



5

まとめ

- ・昨年度に引き続き、季節ごとにブックカバーを作成するようにしたため、特定の時期だけでなく長期間にわたり配布することができた。
- ・アナログでデザインする場合の印刷方法などについて考えておく必要がある。

6

今後の活動

活動休止

(担当者の状況によっては活動する可能性あり。)

館内装飾

2020年度コンシェルジュ活動報告会

1

目次

- 企画概要
- 成果（よかった点）
- 問題点
- 改善案

2

企画概要

- 季節感のある飾りつけをすることで、気軽に足を運びやすい図書館にする。
- 後期は冬装飾のみを実施（実施期間：11月8日～）。

3



4



5

成果（よかった点）

- 予定していた期間内に飾りを作り終えることができた。
- 昨年までの飾りを再利用することで、負担は軽減した。
- 量産型にしたので、少人数でも作りやすかった。

6

問題点

- 少人数で作ることになってしまった。これが毎回続くと、特定の人の負担が重くなるかもしれない。
- ドアが開かれた状態で固定されていたことを失念していた。
 - 寒色を使った飾りだったので、存在感が薄れてしまった。

7

改善案

- 人数を増やすのが一番だが、確保できるか分からない。
 - 1, 2回で作り終われるような単純なものにし、過去の飾りを有効に活用する（今回と同じ。作業がはかどるように、ミーティング時間外に時間を設定することも可能だが、負担は変わらないかもしれない）
 - ・新しく飾りを作るテーマを減らす。
- 飾りの色は、明るめや濃いめの色を選ぶなどして、見えやすくする。

8